

11月の学校だよりでもご紹介した、藤幼稚園 加藤園長先生の「生きる上で一番の喜びは何か」というお話から、子供たちはいろいろなことを学んだようです。5年生が書いてくれた感想の一部を紹介します。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「人生で一番の喜び」

皆さんの喜びは何でしょうか。加藤園長先生は、「人生で一番の喜びは、誰かに喜んでもらうこと」だと話されました。家族、友達、先生、そして初めて出会う誰かが自分のしたことで喜んでくれたら、とても嬉しい気持ちになります。アンパンマンをかいた、やなせたかしさんも「人生はよろこばせごっこ」と言っているそうです。今、勉強していることが、未来の誰かの喜びにつながっているのです。

この間、夢ファームを通ったら、5年生が草取りをしながら、誕生日の担任の先生におめでとうを伝えてほしいと話していました。一緒に記念日を祝う温かい気持ちを感じました。夕方の帰り道、自転車に乗った1年生がさようなら、と声をかけてくれました。疲れが吹き飛ばような気持ちになりました。地域の方が公園でゴミ拾いをしていたら、九小の子供たちが手伝ってくれたそうです。皆さんが、素敵な心で行動してくれてとても嬉しかったです。

もう一つ伝えたいのは、喜びを見つける力があれば、毎日が楽しくなるということです。先生がそのことを教わったのは、小学生の時に読んだ「少女パレアナ」という物語でした。パレアナは人形が欲しかったのに松葉杖をもらってがっかりします。そのとき、お父さんは、松葉杖を使わなくてもいいことを喜ばばいいと話します。それからパレアナは、「なんでも喜ぶ」という遊びを続けて、周りの人を幸せな気持ちにするのです。

皆さんのもっている力が誰かの喜びになるように、そして嬉しいことをたくさん見つけてほしいと思います。

<感想>

- 1 人生の喜びや楽しみを生み出すには、仲間や友達が必要だということを学んだ。友達の喜びや楽しみを作るには、自分の努力が必要になるから、もっと努力をして、友達の人生を明るくしたいと思った。
- 2 心に残ったことは、喜ばせごっこです。なぜ、心に残ったかかというと、「人を喜ばせることは、自分も喜ばせることだ」というのを初めて知ったからです。これからは、人を喜ばせる、というのを心がけていきたいです。
- 3 人を喜ばせるには、相手が好きなことを考えるといいと思います。理由は、人が好きなことをすれば、喜んでくれると思うからです。僕は、クラスのみんなの好きなこと、嫌いなことを知りたいと思いました。
- 4 心に残ったことは、喜ばせごっこです。理由は、物事をいい風に考えれば、いつも明るくいられてとてもいいと思ったからです。私も、喜ばせごっこをできるようにしたいです。
- 5 私もこれからはみんなを喜ばせたいと思います。そのために、人が喜ぶことや言葉を言っていきたいと思っています。人を喜ばせたりすると、自分も幸せになるし、相手を幸せにすることができます。
- 6 今まで1番嬉しいことは、その人が喜ぶことだと思っていました。でも、それだけじゃなくて、自分が喜ぶことで他の人が嬉しくなるということが、心に残りました。
- 7 いろいろ嫌なことがあったとき、いつも嫌なことに全部変えて考えてしまっていたけど、今日の話聞いて、嫌なことがあってもいいことに変えて考えていきたいです。
- 8 私も、アンパンマンみたいにやさしい心もちたいと思いました。アンパンマンは、自分の身を削って人をおなかいっぱいにしてあげていて、すごくえらいと思いました。
- 9 みんなを喜ばせるのが好きなので、喜ばせごっこをしようと思いました。私も争いは嫌いなので、アンパンマンのような人になりたいです。
- 10 心に残ったことは、上砂公園でゴミ拾いをしていたことです。なぜなら、遊んでいるのをやめてゴミ拾いを手伝っていたからです。私も、人が喜ぶことをやろうと思います。